

登録コード	E2123900	開講年度	2026			
授業科目	外国史演習				担当教員	野口 舞子
英文授業名	Seminar of the Foreign History I				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・2時限	対象学生
講義室	教育M306		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				・現代世界の基本的な枠組みの形成過程を理解し、歴史的に引き継がれている世界的な課題について考察できるようになる（達成目標）。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				・歴史学関連の文献を精読することを通じて、歴史研究および歴史教育を実践するための基礎を身につけ、その成果をプレゼンテーションとして具体的かつ分かりやすく提示できるようになる（達成目標）。 ・授業でのプレゼンテーションや討論を通じて、歴史的な事象や現代的な諸課題について一定の視点を形成し、歴史的観点から文章で表現できるようになる（達成目標）。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	帝国主義から第一次世界大戦における各国の状況や様々なテーマに関する文献を精読し、これらの時代の特徴について検討するとともに、現代に通じる課題に対する理解を深める。授業はプレゼンテーションとそれに対する討論という形で進める。					
(5)授業計画	第1回：オリエンテーション（文献の決定、分担、報告方法の確認など） 第2回：歴史学の研究手法とその課題 第3回：帝国主義と第一次世界大戦 第4回：文献報告：イギリス 第5回：文献報告：フランス 第6回：文献報告：ドイツ 第7回：文献報告：日本 第8回：文献報告：東中欧 第9回：文献報告：アメリカ 第10回：文献報告：アフリカ 第11回：文献報告：捕虜 第12回：文献報告：ジェンダーの視点 第13回：第一次世界大戦後の世界 第14回：全体討論、授業アンケート 教育実習による欠席分の補講は、課題の提出・添削等で対応する。					
(6)成績評価の方法	・授業の達成目標 の到達度を測る討論での発言 30点 ・授業の達成目標 の到達度を測るプレゼンテーション 30点 ・授業の達成目標 の到達度を測るレポート 40点 ・得点率による評価基準は次の通りとする。 90%以上 秀、89-80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可					
(7)成績評価の基準	・レポートの評価基準は以下の通り。 (i) 問題の設定が適切である。(ii)問題について先行研究をよく調べて言及している。(iii)レポートの形式が適切である。(iv)の既存の学説が提示する解決法を適切に把握し、問題点や限界を指摘している。(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 (i) から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目まで満たしていれば「やや上にある」。3項目まで満たしていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	・事前学習：各回で扱う文献を必ず読んでおく。また、知らない用語や歴史的背景などについて調べておくとともに、自分が議論したい点を考察しておく。 ・事後学習：授業内で提示した参考文献を読み、理解を深める。 この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。					
(9)履修上の注意	・授業内の討論において発言や質問するなど、意欲的に授業に参加することが望まれる。 ・資料の配布、授業の振り返り、レポート提出等で適宜eALPSを利用する。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・オフィスアワー：M315研究室、平日在室時は随時。 ・連絡先：noguchi_maiko@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	・原則として使用しない。資料を配布する。					
【参考文献】	・適宜指示する。					